

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	森トラスト株式会社		
事業所の名称	仙台トラストタワー		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1		
主たる事業	不動産賃貸業・管理業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>当社は、従来の省エネ活動をより確実にするとともに、更なる地球温暖化対策の充実に努めて参ります。</p> <p>具体的には以下のテーマを掲げて常に地球温暖化対策に取り組めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 賃貸ビルはテナントへの協力が不可欠のため、テナントへの働きかけを推し進める。 諸施設の更新時期には積極的に省エネルギー化を図る。 新技術導入の可能性についての検討。 		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019年度	基準排出量	9,284 t-CO ₂	基準原単位	0.07481
	目標年度	2022年度	目標排出量	9,191 t-CO ₂	目標原単位	0.07406
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020年度	排出量	8,411 t-CO ₂	排出原単位	0.06908
			削減率	9.40%	削減率	7.65%
	排出量等の増減理由	全体の主な要因としてコロナ禍によるオフィスの出勤率低下とホテルの稼働減少がありました。				
	第2年度	2021年度	排出量	8,986 t-CO ₂	排出原単位	0.0732
			削減率	3.20%	削減率	2.15%
	排出量等の増減理由	前期に引き続き、基準年度と比較して、コロナ禍によるオフィスの出勤率低下とホテルの稼働減少がありました。				
	第3年度	2022年度	排出量	9,251 t-CO ₂	排出原単位	0.07548
削減率			0.35%	削減率	-0.90%	
排出量等の増減理由	以下の理由により前期と比較して原単位が増加しました。 オフィスの稼働率は横ばいであったものの、ホテルの稼働率が大きく上昇したこと。 冷媒として使用しているフロンが漏洩量が多かったこと。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	88%	目標年度	100%
	第1年度	88%	実施状況の説明等	基準年度と同水準の運用対策を引き続き継続している。
	第2年度	88%	実施状況の説明等	基準年度と同水準の運用対策を引き続き継続している。
	第3年度	88%	実施状況の説明等	基準年度と同水準の運用対策を引き続き継続している。

様式第2号別紙1

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		一部実施済
	再熱除湿運転回避		実施済
	外気冷房		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		実施済
	変圧器の負荷率管理		実施済
	デマンド管理		実施済
	負荷平準化		実施済
	窓の断熱性向上		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	自動車通勤の禁止	実施済
	廃棄物削減対策の実施	ごみのリサイクル促進	実施済
	森林の保全・緑化の推進	外構部の緑化及び維持管理	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	ホテルバックパブリックエリア照明LED化	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	ホテルバック客室照明LED化	実施済